

プラント設備の品質確保とAIを使ったオペレーション

～ 人的検査とAIを使った安定操業と生産性向上～

日時

2019年 9月13日(金)

10:30 ~ 16:30

税込受講料

1名 45,000円 +消費税

2名以上1名 42,000円 +消費税

案内図

飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

<本講座のポイント>

プラント設備を法令順守しながら誤りなく建設し、省力化したメンテナンスをしながら生産性向上と安定操業を実現するための要点を、事例を参考にしながら解説します。また、プラントオペレーションにおけるAI利用の現状と費用対効果について解説します。

講師

日本検査(株)検査事業部 テクニカルダイレクター 博士(工学) 後藤 元晴氏

日揮(株) 特別理事 上席化学工学技士 博士(工学) 技術士 大野 拓也氏

<プログラム>

Study and Learning

I. 各種プラント機器に必要な検査とグローバル調達における品質確保

1. 各種プラント機器に対する品質確保

- | | |
|--------------------|----------------------|
| (1) 各種プラントに適用される法令 | (2) プラント品質確保のための要求事項 |
| (3) 各種プラントの構成機器 | (4) 各機器に対する検査項目と重要度 |
| (5) 各検査項目に対する概要説明 | |

2. 溶接構造物に対する検査

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| (1) 溶接構造物に対する検査の重要性 | (2) 溶接構造物に要求される検査と国際規格 |
| (3) 圧力容器・配管等に対する溶接検査の実態 | |

3. モノづくりを取巻く環境変化と対応

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| (1) 近年の品質不具合問題の背景および要因 | (2) 日本のモノづくりと海外のモノづくり |
| (3) グローバル調達における品質の確保 | (4) 第三者検査の重要性と国際的ニーズの高まり |

4. まとめ

- | | |
|---------------------------|------------------|
| (1) プラント品質確保のために留意すべきポイント | (2) 生産性を上げるための工夫 |
|---------------------------|------------------|

10:30 ~ xx:xx 後藤 元晴氏)

II. AIを利用したプラントの生産性向上と安定操業:実績と展望:(xx:xx~xx:xx 大野 拓也氏)

1. AI を使ったプラントデータ解析

- | | |
|--------------------------|------------------|
| (1) AI を動かすハードウェア・ソフトウェア | (2) データ解析のアルゴリズム |
| (3) インフラとしてのIoT | (4) データセキュリティ対策 |

2. プラントオペレーションの見える化

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 何のために見える化をする必要があるのか | (2) 見える化をした後、運転員は何をするのか |
| (3) 見える化したデータの保存と利用 | |

3. 異常予兆検知の自動化

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (1) どのような異常があるのか | (2) どのようなセンサーを用いるのか |
| (3) 異常と判断するアルゴリズムは | |

4. 寿命予測

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (1) 部品の寿命とは何か | (2) 寿命を検知するセンサー |
| (3) 寿命を判断するアルゴリズム | |

5. 生産性向上

- | | |
|------------------------------------------------|--------------------------------|
| (1) プラントオペレーションはどこまで自動化されているのか | |
| (2) AI の利用がなぜ生産性向上に役立つのか(AI利用の費用対効果) | |
| (3) AI だけでは実現できない現状 | (4) AI と人による監視とオペレーションの分担とバランス |
| 6. その他の利用 折角あるAIをさらに有効利用する | |
| 7. 今後のAIを使ったプラントオペレーションの展望 どのようにAIがプラントで使われるのか | |

xx:xx~xx:xx 後藤 元晴氏)

Solution and Consulting / 質疑応答・フリーディスカッション

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675

<http://www.ebrain-j.jp/>

Email: uketsuke@ebrain-j.jp

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 プラント設備の品質確保とAIを使ったオペレーション

セミナーコード

1101-190913

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2019/9/13 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
				-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				